

RSN第7回理事会

支援契約の見直し提案^{21世紀会負担金}の有効な活用へ

ばちんこ依存に関する相談機関であるNPO法人リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)は12月12日、東京・市ヶ谷の遊技会館で第7回理事会を開き西村直之代表理事以下11人の理事が出席し、懸案の課題について協議した。

RSNは「認定NPO法人に向けた条件整備」として賛助会員(寄付金年間3000円)への入会を支援団体の21世紀会に要望していたが、各団体ともすばやく反応し



リカバリーサポート・ネットワークの理事会(左端が西村代表理事)

て、すでに300人以上入会の目安が立ち、認定条件である100人以上の賛助会員数をクリアした。RSNは12月19日に沖縄県の監査を受け、仮認定となる予定だが、賛助会員の確保により平成24年度中の本認定も可能となってきたと報告された。

現在、21世紀会の14団体が業務委託契約を結んでRSNを支援しているが、この委託契約は課税対象となつている。消費税増税が行われると、事業資金の1割が活動に充填できなくなる。西村代表理事は、支援負担金を有意義に活用するために契約の見直しを提案した。①業務委託契約は課税対象とはならない「活動支援協定」に変更する。②分担金を「支援活動支出金」とする。③変更を受け入れるか、現在の契約を続けるか各団体と個別に選択してもらう。

これに対して、21世紀会の理事側(全日遊連、日遊協、日工組、日電協)は「14団体で足並みをそ

ろえた方がいい。提案では、団体側に税負担の問題が発生するが、近く4団体の事務局会議を開いて協議する」とした。

また、RSNの社員に対する賞与規定が提案され、承認された。

貯玉補償基金理事会

運用規定一部改正

破産法以外の補償要請で

一般社団法人貯玉補償基金の第45回理事会が12月12日、東京千代田区・グラウンドアーク半蔵門で開かれ、5つの議案を審議した。

破産法に基づかない補償要請について「貯玉補償事業等運用規定の一部改正」と「貯玉補償適用申請審査委員会運営要領の制定」を承認し、「審査委員」として堤義成理事、篠原弘志理事の2名を選出した。

第6期定時社員総会で退任した日野二郎、木原一雄氏の両名を「相談役」に委嘱することと「東日本大震災被災加入ホールの基金適用」の件を合わせて承認した。

報告事項として「貯玉加盟状況」「資金運用」「業務委託に関する規約と運用」「2013年ポスター制作」などについて説明された。

ホール5団体風営法WG

賞品提供などで意見交換

ホール5団体風営法検討会WG(ワーキンググループ)会合が12月10日、日遊協本部会議室で開かれ、全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSAの5団体幹部13人が出席した。政令に公示されている手数料(保通協の検査、ホールの許可申請、遊技機の入替申請等)の改正作業に関する説明があった。賞品提供及び遊技料金等について、意見を出し合った。(16〜18ページに手数料関連記事)

サンフレッチェと講習会

プローバが開催、160人参加

広島市を中心にパチンコホールなど娯楽施設を展開しているプローバグループ(平本直樹代表)は12月9日、岡山県備前市の総合運動公園で、サッカーJ1リーグ優勝のサンフレッチェ広島と「PROVAサンフレッチェ広島サッカースクール」を開いた。同県全域から小学5、6年生約160人が参加した。プローバグループはサンフレッチェ広島のチームスポンサー企業となっている。

店長・管理職能力開発講習・試験 2月21日名古屋で

ホールの店長や店長候補者をはじめ、メーカー、設備機器等の遊技産業に働く管理職の方々を対象に、日遊協が関係団体の協力を得て行う「店長・管理職能力開発講習・試験」が、今年2月に名古屋で行われる。おもな講義は、業界の現状と将来展望、管理能力、マーケティング戦略、コンプライアンス、風営法、業界人の誇りと使命―で、業界の健全な経営に資する心構え・知識・技能等を身につけて、リーダーとして育ってもらえる内容となっている。

〔名古屋会場〕

2013年2月21日(木)

栄メンバースオフィスビル

午前10時開始、午後5時半終了。
受講・受験料は日遊協会員1万7200円、会員以外2万2450円。
希望者は申込用紙に記入して日遊協事務局に申し込む。申込用紙は日遊協ホームページ、または「講習」チラシのFAX申込書で取り寄せられる。定員に達すると締め切る。

日遊協ホームページ

http://www.nichiyukyo.or.jp/

日遊協事務局

電話 03・35553・4333(代)

FAX 03・35553・4334

中部支部セキュリティ対策部会 ARTゴトを報告分析

中部支部セキュリティ対策部会は11月27日、名古屋・アイリス愛知で中部遊商と情報交換会議を開いた。

中部支部から山口悟支部長、内ヶ島隆寛部会長ら21人、中部遊商から河合敏夫セキュリティ委員ら4人が出席した。ゴト情報評価チームから9、10月の不正情報36件(パチンコ6、パチスロ27、その他3)の説明があった。パチンコはほぼ磁石ゴト、パチスロはほとんどがARTをねらった行為で、手口は「ショット(穴を開け異物を挿入)」「不正ハートネス」。「パチスロ北斗の拳」へのゴトが再び増加し、「ミリオンゴッド」はショットゴトから電波ゴトに移行しているとの報告があった。

愛知ゴト情報対策協議会 それぞれの情報交換

愛知県ゴト情報対策協議会が11月6日、名古屋・愛知県遊協で開かれた。愛知、岐阜、三重の3県遊協と日遊協中部支部の幹部が参加した。日遊協中部支部セキュリティ対策部会ゴト情報評価チームと愛遊協ゴト対策協議会からそれぞれ報告があった。

会員・業界消息

代表者変更

株式会社
アミューズメントプレスジャパン
代表取締役会長兼社長・児玉周作

12月1日

株式会社
コムシード株式会社
代表取締役・羽成正己

11月2日

株式会社
ジェイク
代表取締役・廣原早登司

7月27日
株式会社マタハリ
代表取締役・山中康敬
7月1日

株式会社大一商事
代表取締役・市原久子
2011年5月2日
株式会社ポストン商会
代表取締役・米澤博

DATA SPOT

パチスロ台数が20か月連続で増

全日遊連は12月25日、店舗数、遊技機台数の2012年11月分を発表した。店舗数は、前月比で12店減り、下降線をたどる状態が続いている。1万1155の店舗数は、昨年11月(1万1305店)と比べても、この1年間でマイナス150店の減少となった。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス6万5614台(昨年11月286万9273台)と下がり続け、一方パチスロ機はプラス9万5128台(昨年11月132万5722台)と順調だ。パチスロは前月比で7998台増と伸び足を速め、昨年4月から20か月連続で前月比増を続けている。〈注〉店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成24年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	総台数
1月	11,332	30	21	138 (11)	2,869,178	1,360,139	156	4,229,473
2月	11,303	6	35	137 (14)	2,856,929	1,364,366	156	4,221,451
3月	11,268	9	36	144 (23)	2,843,391	1,369,425	160	4,212,976
4月	11,269	29	38	134 (14)	2,838,019	1,385,142	160	4,223,321
5月	11,258	16	28	134 (12)	2,833,776	1,390,461	160	4,224,397
6月	11,227	11	34	138 (21)	2,825,019	1,395,141	160	4,220,320
7月	11,222	14	26	131 (12)	2,822,070	1,401,427	160	4,223,657
8月	11,227	26	21	132 (17)	2,817,356	1,410,362	160	4,227,878
9月	11,199	12	34	138 (16)	2,810,983	1,412,650	156	4,223,789
10月	11,167	14	35	149 (23)	2,798,701	1,412,852	156	4,211,709
11月	11,155	9	23	143 (6)	2,803,659	1,420,850	156	4,224,665

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	233	+2
東北	520	+2
東京	538	+8
関東	1512	+15
中部	453	+3
近畿	824	+1
中国	277	+1
四国	142	-1
九州	590	-1
全国計	5089	+30

(2012年11月30日現在)